

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2004 年 5 月 13 日 (13.05.2004)

PCT

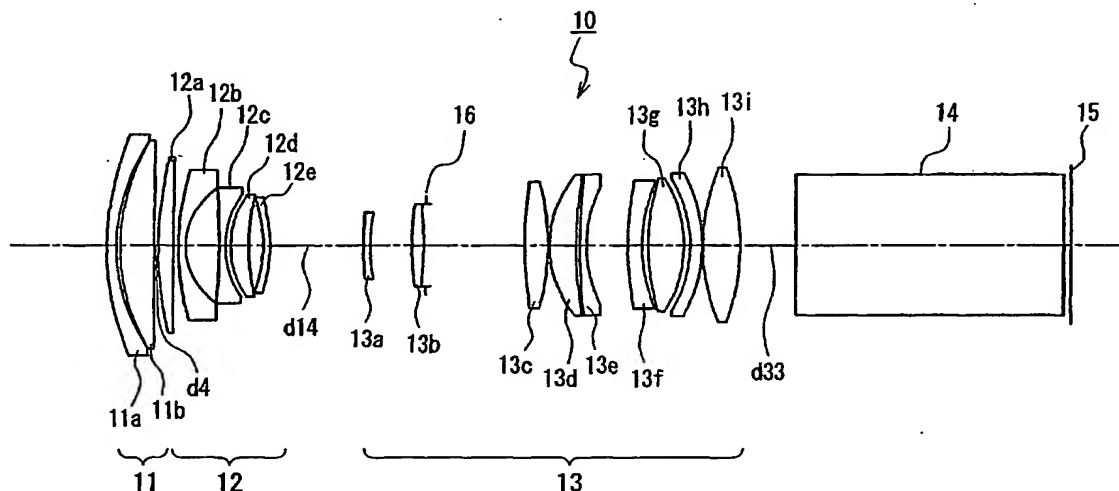
(10) 国際公開番号  
WO 2004/040350 A1

- (51) 国際特許分類<sup>7</sup>: G02B 15/20  
(21) 国際出願番号: PCT/JP2003/013167  
(22) 国際出願日: 2003 年 10 月 15 日 (15.10.2003)  
(25) 国際出願の言語: 日本語  
(26) 国際公開の言語: 日本語  
(30) 優先権データ:  
特願 2002-301028 2002 年 10 月 15 日 (15.10.2002) JP  
特願 2002-301029 2002 年 10 月 15 日 (15.10.2002) JP  
特願 2002-301030 2002 年 10 月 15 日 (15.10.2002) JP  
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒571-8501 大阪府 門真市 大字門真1006番地 Osaka (JP).  
(72) 発明者; および  
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 木村 俊介 (KIMURA, Syunsuke) [JP/JP]; 〒669-1133 兵庫県 西宮市 東山台2丁目33-1-1-501 Hyogo (JP). 高橋 昌之 (TAKAHASHI, Masayuki) [JP/JP]; 〒666-0111 兵庫県 川西市 大和東4丁目2-19 Hyogo (JP). 山本 義春 (YAMAMOTO, Yoshiharu) [JP/JP]; 〒560-0056 大阪府 豊中市 宮山町2-20-23 Osaka (JP).  
(74) 代理人: 特許業務法人池内・佐藤アンドパートナーズ (IKEUCHI SATO & PARTNER PATENT ATTORNEYS); 〒530-6026 大阪府 大阪市 北区天満橋1丁目8番30号OAPタワー26階 Osaka (JP).  
(81) 指定国 (国内): CN, KR, US.  
(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR).  
添付公開書類:  
— 国際調査報告書

(続葉有)

(54) Title: ZOOM LENS, VIDEO ENLARGING/PROJECTING SYSTEM, VIDEO PROJECTOR, REAR PROJECTOR, AND MULTIVISION SYSTEM

(54) 発明の名称: ズームレンズとそれを用いた映像拡大投写システム、ビデオプロジェクター、リアプロジェクター、及びマルチビジョンシステム



(57) Abstract: A zoom lens having three or more groups of lenses. When viewed from the long conjugate distance side, a first lens group (11) having a positive refractive power and a second lens group (12) having a negative refractive power are arranged in order of mention. Among the lenses of the second lens group (12), the first lens (12a) from the long conjugate distance side has a positive refractive power. With this, the distortion aberration is reduced to a low level.

(57) 要約: レンズ群が3群以上であり、共役距離の長い側から見て、正の屈折力の第1レンズ群(11)、負の屈折力の第2レンズ群(12)の順に配置され、第2レンズ群(12)のレンズのうち、共役距離の長い側から見て第1番目のレンズ(12a)が、正の屈折力である。このことにより、歪曲収差を小さく抑えることができる。



- 請求の範囲の補正の期限前の公開であり、補正書受領の際には再公開される。

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。